

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)



平成22年11月8日

上場会社名 古河スカイ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 5741 URL <http://www.furukawa-sky.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 正照
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長谷川 久 TEL (03)5295-3800(代)
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	105,997	24.1	7,132	—	6,766	—	5,434	—
22年3月期第2四半期	85,381	—	△5,739	—	△6,435	—	△8,453	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	23.93	—
22年3月期第2四半期	△37.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	203,778	63,862	31.1	278.98
22年3月期	200,176	59,617	29.5	260.39

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 63,354百万円 22年3月期 59,131百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	3.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	200,000	7.8	11,000	—	10,100	—	8,400	—	36.99	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 有
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	227,100,000株	22年3月期	227,100,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	12,107株	22年3月期	12,107株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	227,087,893株	22年3月期2Q	227,092,227株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 連結経営成績に関する定性的情報	2
2. 連結財政状態に関する定性的情報	2
3. 連結業績予想に関する定性的情報	2
4. その他	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
5. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済の環境は、好調な新興国経済、各種インセンティブ政策による景気下支え等により、自動車、電気機械等主力産業は堅調であり、設備投資も回復基調でありました。但し、8月下旬からの急速な円高、国内自動車販売インセンティブ政策の終了(9月)等により、景気悪化懸念、先行き不透明感が増しつづけます。

当社グループが属するアルミニウム圧延業では、主要製品である飲料用缶材の需要が、夏場の記録的な猛暑にもかかわらず、少子高齢化、若者のビール離れ等により前年同期比で減少となりました。一方、自動車、電気機械、卸・小売等大半の分野においては需要回復が大きいことから、圧延品需要全体では前年同期比で1割強の増加となりました。

このような環境のもと、当社の売上数量は半導体・液晶製造装置向け等の厚板などが好調であったことから前年同期比で2割を超える増加となりました。

連結の損益面では、資産除去債務に関する会計基準の適用により、既存資産に関連する特別損失を第1四半期連結会計期間に710百万円計上いたしました。上述した売上数量の回復に加え、地金ポジションの正常化等により前年同期と比較し大幅な増益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は105,997百万円（前年同四半期期比20,615百万円の増加）、営業利益は7,132百万円（前同四半期連結累計期間の営業損失は5,739百万円）、経常利益は6,766百万円（前同四半期連結累計期間の経常損失は6,435百万円）、四半期純利益は5,434百万円（前同四半期連結累計期間の四半期純損失は8,453百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における海外売上高は18,426百万円（前同四半期連結累計期間の海外売上高は11,552百万円）、連結売上高に占める海外売上高の割合は17.4%（前同四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高の割合は13.5%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は203,778百万円（前連結会計年度末比3,602百万円の増加）となりました。このうち、流動資産合計については97,582百万円であり、前連結会計年度末より8,343百万円増加しております。これは、主に受取手形及び売掛金が1,545百万円増加、仕掛品が2,005百万円増加、余剰資金の運用等によるその他流動資産に含まれる短期貸付金が4,988百万円増加したこと等によるものです。また、固定資産合計については106,196百万円であり、前連結会計年度末より4,742百万円減少しております。これは、主に有形固定資産が4,869百万円減少したことによるものです。

負債合計は139,916百万円（前連結会計年度末比644百万円の減少）となりました。これは、主に資産除去債務に関する会計基準の適用によりその他固定負債に含まれる資産除去債務が753百万円増加、デリバティブ債務が497百万円増加した一方で未払金が1,306百万円減少、退職給付引当金が726百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は63,862百万円（前連結会計年度末比4,245百万円の増加）となりました。これは、主に繰延ヘッジ損益や為替換算調整勘定等の評価・換算差額等合計が756百万円減少した一方で四半期純利益5,434百万円計上したこと等により利益剰余金が4,979百万円増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

8月5日に公表した連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用の概要

1. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却可能価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算出方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ9百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は719百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は751百万円であります。

2. 在外連結子会社等の収益及び費用の換算方法の変更

在外連結子会社等の収益及び費用は、従来、当該子会社等の決算日の為替相場により換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により換算する方法に変更しております。

この変更は、在外連結子会社等の重要性が増加したことに伴い、連結会計期間を通じて発生する収益及び費用の各項目を決算日の為替相場により換算すると、為替相場の変動状況によっては在外連結子会社等の経営成績を正しく表示できない可能性があるため、これを回避し、より実情に即した企業状況を表示するために行ったものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は87百万円、営業利益は13百万円、経常利益は27百万円、税金等調整前四半期純利益は27百万円、四半期純利益は25百万円、それぞれ増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,446	4,201
受取手形及び売掛金	59,806	58,262
商品及び製品	4,175	4,663
仕掛品	9,069	7,064
原材料及び貯蔵品	9,538	9,248
繰延税金資産	1,505	1,459
未収入金	4,674	4,103
その他	5,656	367
貸倒引当金	△287	△128
流動資産合計	97,582	89,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,182	22,902
機械装置及び運搬具（純額）	30,820	34,517
土地	36,402	36,634
その他（純額）	3,554	3,775
有形固定資産合計	92,958	97,828
無形固定資産		
のれん	738	835
ソフトウェア	1,222	1,470
その他	111	104
無形固定資産合計	2,071	2,409
投資その他の資産		
投資有価証券	4,714	4,385
繰延税金資産	1,793	1,697
その他	4,676	4,664
貸倒引当金	△16	△45
投資その他の資産合計	11,166	10,701
固定資産合計	106,196	110,938
資産合計	203,778	200,176

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,102	37,916
短期借入金	27,657	28,001
1年内償還予定の社債	287	240
1年内返済予定の長期借入金	5,527	4,559
未払金	4,261	5,567
未払費用	8,440	8,320
未払法人税等	444	572
未払消費税等	481	129
デリバティブ債務	497	—
その他	465	394
流動負債合計	86,159	85,699
固定負債		
社債	323	290
長期借入金	38,940	40,063
退職給付引当金	11,443	12,169
役員退職慰労引当金	123	168
繰延税金負債	55	69
環境対策引当金	213	207
事業構造改善引当金	755	755
その他	1,906	1,140
固定負債合計	53,757	54,861
負債合計	139,916	140,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,528	16,528
資本剰余金	35,184	35,184
利益剰余金	12,431	7,452
自己株式	△2	△2
株主資本合計	64,142	59,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110	169
繰延ヘッジ損益	△336	47
為替換算調整勘定	△562	△247
評価・換算差額等合計	△788	△31
少数株主持分	508	486
純資産合計	63,862	59,617
負債純資産合計	203,778	200,176

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	85,381	105,997
売上原価	82,960	90,455
売上総利益	2,422	15,541
販売費及び一般管理費	8,161	8,409
営業利益又は営業損失(△)	△5,739	7,132
営業外収益		
受取利息	12	2
受取配当金	17	22
持分法による投資利益	—	249
受取賃貸料	76	62
物品売却益	29	40
還付加算金	57	—
その他	75	88
営業外収益合計	266	463
営業外費用		
支払利息	622	576
持分法による投資損失	118	—
支払補償費	132	114
その他	90	139
営業外費用合計	961	829
経常利益又は経常損失(△)	△6,435	6,766
特別利益		
貸倒引当金戻入額	65	39
その他	0	19
特別利益合計	66	58
特別損失		
固定資産除却損	86	49
減損損失	—	226
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	710
事業構造改善費用	2,018	—
その他	6	46
特別損失合計	2,110	1,030
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,478	5,794
法人税、住民税及び事業税	67	344
法人税等調整額	25	△37
法人税等合計	92	307
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,487
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△117	53
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,453	5,434

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。